

外村史郎 シラウチ ロシア文學者。明治二十二年六月十一日福島縣生れ。

昭和二十六年七月十一日歿（二九〇—一九五二）。本名馬場哲哉。大正二年

東京外國語學校露語科卒、七年早稻田大學文學部英文科卒。九年早大

露文科講師、のち東京外語講師、外務省嘱託を経て昭和十六年渡滿。

在滿中の終戦まで迎へシベリアに拘留、同地で歿。同學江川卓タカ（本名馬

場宏）の父。

譯書「トルストイ全集」（本名、共譯、第二卷・大正八年一月—二十

日、第十一卷・十一月—二十一年一月）、「青春社」、レーミンツナ作「十字架の姉

妹」（同、大正十二年四月十四日新潮社「現代露西亞文藝叢書」）、

「タルツイバーシエ」著「作者の感想」（同、大正十二年十一月十五日

人文會「泰山隨筆選集」）、ルナチヤルスキイ著「實踐美學の基礎」

（同、大正十五年四月十九日人文會出版部「社會思想文藝叢書」）、

「イ・エレンブルグ他作」コソニエーの戰士のパイプー勞農ロシア短篇

集（能勢登羅共譯—蕨原惟人譯編、昭和二年二月二十日南末書院

「世界社會主義文藝叢書」）、「フレハーノフ著」藝術論」（昭和二年

六月十八日叢文閣「マルクス主義藝術理論叢書」）、「レーニン ルナ

チヤールスキイ他著」義者の見たトルストイ」（共譯・國際文化研究所

昭和二年十一月二十日叢文閣）、「フレ

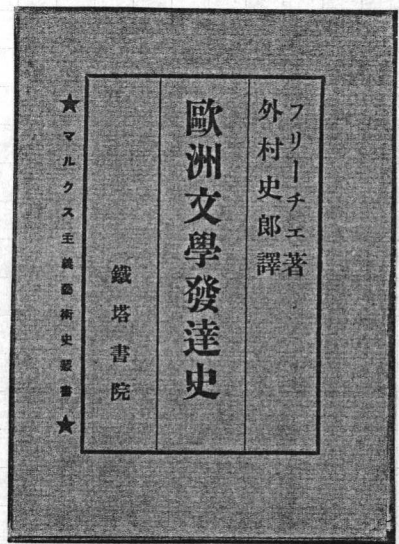
ハーノフ著」文藝論」（昭和五年五

月十五日叢文閣「マルクス主義藝術

理論叢書」）、「フリーチエ著」歐洲

文學發達史」（昭和五年十一月二十

日鐵塔書院「マルクス主義藝術史叢



書」。再刊。十一年二月。二十日改造社「改造文庫」、マーツァ著

「理論藝術學概論」(昭和六年九

月十五日鐵塔書院)、マ文學は如

何なる道に進むべきか—ソヴェー

ト作家大會に於ける報告及討論』

(田村)ニ透共譯、昭和九年十一月

六日鐵塔書店)、シヨロホフ作、

「静かなるドン」(昭和十年五月十五日ニ笠書房)、ツルゲーネフ作

「貴族の策」(本名、昭和十一年二月十五日弘文堂書房「世界文庫」)

ドレイデン編「レーニンと藝術」(共譯、昭和二十一年一月二十日

社會書房)等。

著書「世界文藝講座・ヨーロッパ文藝篇」(本名、合著、昭和五年四

月二十日新潮社)、

「現代ドイツ文學」

「現代ロシヤ文學」(現代の文學)」(高橋健)「合

著、昭和十一年二月二十日建設社「現代哲學全集」)、ロシヤ文

化の研究—八杉先生還暦記念論文集」(本名、

米川正夫、除村吉太郎共編、昭和

十四年二月二十日岩波書店)等。

